

ミズギク

Imula ciliaris (Miq.) Maxim.

キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

湿地の減少、植生遷移等の環境の変化により減少している。

分 布

国内では、本州（近畿地方以东）～九州に分布する。大野市、勝山市。

種の特徴

山間の湿地等に生える。茎の高さ 25～50 cm、根出葉は花時にもある。茎葉は卵状披針形、基部は少し茎を抱く。頭花は茎頂に 1 個つき、上を向く。舌状花は黄色、総苞は半球茎、総苞片は 4～5 列、狭楕円形、外片には密毛がある。

生育を脅かす要因

植生遷移等による湿地環境の変化。

参考文献 福井県植物研究会 (1998)、林弥栄・平野隆久 (2013)、佐竹義輔ほか (1981)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

コオニタビラコ

Lapsanastrum apogonooides (Maxim.) J.H.Pak et K.Bremer

キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

圃場整備等により、現在はほとんど見られなくなった。

分 布

国内では本州～九州に分布する。春の七草の一つホトケノザは本種だといわれている。小浜市、敦賀市、越前市、永平寺町、坂井市、福井市、勝山市に分布する。

種の特徴

水田の周辺に見られる。根生葉はロゼット状で、長さ 4～10 cm、羽状に分裂。茎は 4～20 cm、根際より多数出る。頭花は散房状につき、黄色、径 1 cm。開花後花柄がのびて下垂する。総苞は円筒形。

生育を脅かす要因

圃場の整備、水田の減少等。

参考文献 佐竹義輔ほか (1981)、林弥栄・平野隆久 (2013)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○	○				○	○	○			○		○

ヒメヒゴタイ

Saussurea pulchella (Fisch. ex Hornem.) Fisch.

キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生育地が限られており、個体数も少ない。

分 布

国内では本州～九州に分布するが、個体数は多くなく減少している。敦賀市、大野市、越前市、高浜町。

種の特徴

草原に生える。茎は高さ 30～150 cm、上部で枝分かれする。葉は羽状全裂または全縁、長さ 12～18 cm。披針形～広披針形。花茎は分枝、多くの頭花をつける。総苞片の上部には紅紫色の膜質の付属体をつける。

生育を脅かす要因

環境破壊、植生遷移等。

参考文献 矢原徹一ほか (2015)、畔上能力ほか (2013)、佐竹義輔ほか (1981)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○			○						○				○	